

2016.12.11 21:36

イノシシと間違え猟銃発砲 狩猟仲間の男性死亡 兵庫県佐用町

11日午前11時半ごろ、兵庫県佐用町庵の山中で、仲間と猟をしていた同県姫路市飾東町夕陽ヶ丘の大工、黒田竜次さん（26）の腹部に、別グループで狩りに来ていた大阪府の無職の男性（69）が撃った猟銃の弾が当たった。黒田さんは約3時間後に搬送先の病院で死亡が確認され、兵庫県警佐用署が業務上過失致死容疑で男性から事情を聴いている。

同署によると、黒田さんは姫路市内の狩猟愛好家ら4人と一緒に同日朝から山に入り、猟犬を使いながらシカなどを狙っていた。大阪府の男性も、9人の狩猟仲間とクマやシカなどの狩りをしていたという。

男性は同日午前11時25分ごろ、仲間から「獲物が近づいてきた」との無線を受け、発見したイノシシに向け猟銃を2回発砲。その後、倒れている黒田さんを見つけたという。黒田さんは当時、はぐれた猟犬を探していた。

現場は智頭急行平福駅の北東約2・2キロの山中。

©2016 The Sankei Shimbun & SANKEI DIGITAL All rights reserved.